

令和元年度事業報告

I. 令和元年度の取り組み概要

これまで培った、九州イノベーション創出戦略会議（KICC: Kyushu Innovation Creative Conference）構成機関の広域連携体制の下で、開放試験研究機器等データベースの更新と活用を図るとともに、構成機関のコーディネータや企業の研究開発から販路拡大までを伴走して支援する成功報酬型コーディネータと連携して技術課題解決に対するソリューションを提供した。

また、WEB上で企業のニーズ（課題）とその解決に資するシーズとのマッチングや KICC の PR 等の広報活動を行った。

主な取り組みは、以下のとおりである。

1. KICC 構成機関のネットワークの維持、継続
2. 開放試験研究機器等のデータベースの更新と活用の促進
3. オープンイノベーション・ソリューション・サイト等の活用による事業化の推進
4. KICC 構成機関のコーディネータのネットワークによる企業の事業化支援
5. 九州オープンイノベーションセンター（KOIC: Kyushu Open innovation Center）との連携による新事業創出の支援
6. 広報活動の実施

II. 個別の取り組み

1. KICC 構成機関のネットワークの維持、継続

（1）通常総会及び特別講演会の開催

令和元年度の通常総会を開催し、平成30年度事業報告や令和元年度事業計画（案）等に関して所要の審議を行った。また、通常総会終了後、特別講演会を行った。

① 通常総会

開催日：令和元年7月29日（月）

場 所：オリエンタルホテル福岡 博多ステーション（福岡市）

② 特別講演会

<講演1>

・テーマ：ふくいオープンイノベーション推進機構の取り組みと研究開発事例

・講 師：福井県産業労働部 副部長（産業技術）

兼 福井県工業技術センター 所長 山本 雅己 氏

<講演2>

・テーマ：福岡地域戦略推進協議会（FDC）におけるオープンイノベーションの実践例（取り組み）について

・講 師：福岡地域戦略推進協議会 事務局次長

前田 真 氏

<成功報酬型コーディネータ事業事例紹介>

- ・一般財団法人 九州産業技術センター 常務理事 成清 四男美
- ・一般財団法人 九州産業技術センター 成功報酬型コーディネータ 辻 勇樹
正清 善隆

<九州オープンイノベーションセンターの紹介>

- ・一般財団法人 九州産業技術センター 常務理事 成清 四男美

(出席者：通常総会 59名、特別講演会 104名)

(2) 構成機関の関係者とのネットワークの維持継続

- ・本会議事業の推進と円滑な運営を図るため、14人で構成する幹事会を開催し、平成30年度事業報告及び令和元年度事業計画(案)等を審議した。
- ・会員機関の公募情報や取組みなどの情報発信を38件行った。
- ・なお、令和元年度末の本会議構成機関は63機関。

2. 開放試験研究機器等データベースの更新と活用促進

- ・九州の大学・高専、各県公設試、産業支援機関等が協力して整備した開放試験研究機器データベースの追加・更新を行うとともに、ホームページ等を通じたPR等を行った。
- ・令和元年度末の開放試験研究機器データベースの登録件数は1,827件。
- ・なお、公設試のデータの更新等は、九州地方知事会(工業系公設試連携事務局)の協力を得て実施した。

開放試験研究機器データベースの更新状況

機 関 名		H30年度末 登録件数	修正 件数	削除 件数	新規 件数	R1年度末 登録件数
公 設 試	福岡県	224	92	7	20	237
	佐賀県	190	71	10	14	194
	長崎県	145	80	3	3	145
	熊本県	185	158	27	38	196
	大分県	169	134	10	3	162
	宮崎県	182	168	14	4	172
	鹿児島県	122	120	1	7	128
	小 計	1,217	823	72	89	1,234
そ の 他	大 学	309	101	23	37	323
	高 専	48	3	1	0	47
	支援機関	221	2	8	7	220
	産総研	5	0	2	0	3
合 計		1,800	929	106	133	1,827

具体的な開放試験研究機器の事例

KICC 構成機関	開放試験研究機器	料 金
福岡県工業技術センター	高分解能走査型電子顕微鏡	2, 850円/時
佐賀県工業技術センター	非線形構造解析システム	ご相談ください
長崎県工業センター	高精細三次元造形装置	2, 860円/時
熊本県産業技術センター	ゲル撮影装置	500円/30分
大分県産業科学技術センター	真空含侵装置	680円/時
宮崎県工業技術センター	電気マッフル炉	250円/時
鹿児島県工業技術センター	3次元プリンター	2, 300円/時
佐賀大学	細胞自動解析装置	1, 700円/回
福岡県産業・科学技術振興財団	高機能電源	300円/回

3. オープンイノベーション・ソリューション・サイト等の活用による事業化の推進

- 九州や九州域外の企業の技術課題（ニーズ）を発掘し、KITEC の WEB サイト（オープンイノベーション・ソリューション・サイト）で公開した上で、その課題を解決するソリューションを有する企業等とのマッチングを支援した。

区 分	件 数（九州サイト）	件 数（リンカーズ）
ニーズ登録	7	191
シーズ提案	45	—
マッチング	1	1

※当サイトは平成 24 年から大阪産振機構と連携して運用してきたが、平成 31 年 3 月で大阪産振機構が運用を終了したため、平成 31 年（令和元年）より当センター単独で新たに運用を開始した。また、リンカーズと連携を行い、九州域外のニーズ情報を提供した。

- 大手企業が必要な技術や部材等のニーズを発表（オープン化）して、中小企業等の取引拡大等を支援する「技術ニーズ発表会」を開催した。九州の 6 機関から 9 件のシーズ提案があり、3 件のマッチングを行った。

4. KICC 構成機関のコーディネータのネットワークによる企業の事業化支援

（1）ワンストップサービスの推進

- 技術相談について、(一財)九州産業技術センター（以下 KITEC と称す）及び国立研究開発法人 産業技術総合研究所九州センター（以下 AIST Kyushu と称す）のコーディネータ等によるワンストップサービスを実施した。

令和元年度の技術相談件数：計 38 件

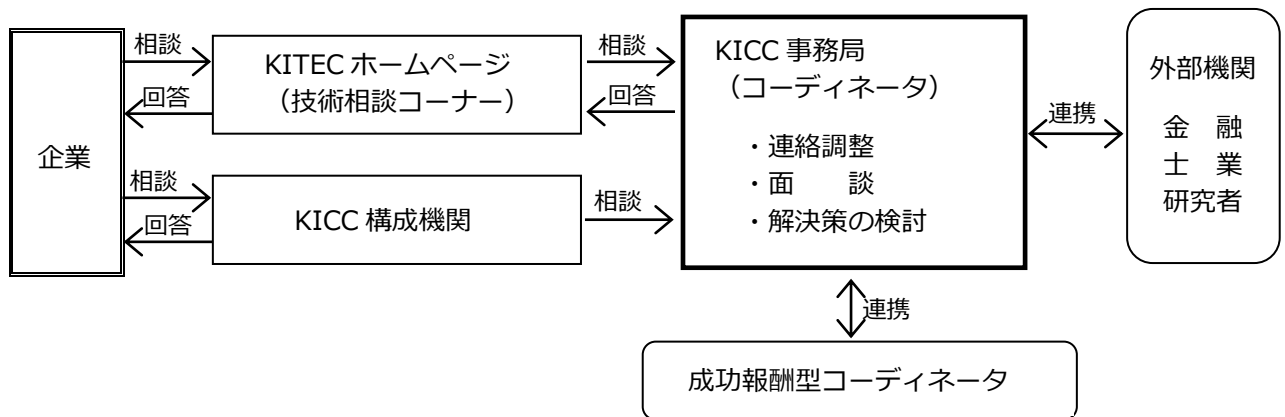
相談企業 の分野	・ナノテク・材料・製造分野： 5 件	・情報・通信分野： 2 件
	・環境・エネルギー分野： 1 件	・その他機械工業： 30 件

技術相談 と成果	<p>①福岡県のP社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒト幹細胞培養上清液エキスドライパウダーの研究開発 ・九州大学とマッチングを行いKITECが行う「ブラッシュアップ研究会」で検討し、サポイン事業^(注)の提案に繋げた。 <p>②熊本県のA社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹素材のセルロースナノファイバーの製品化 ・熊本県産業技術センターとサポイン事業の提案を目指したが時間切れ、次年度提案を目指す。
-------------	---

(注) サポイン事業：経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業で、
 サポートインダストリーを対象とした産学技術開発
 補助金（3年間、1億円の補助、補助率2/3）

・KICC 構成機関のコーディネータの連携による企業等の課題の解決や新事業創出を支援するため、コーディネータ検索システムを構築した。

技術相談ワンストップサービスの仕組み



(2) 成功報酬型コーディネータ事業の支援

①概要

- ・ KITEC では、中小企業の新製品・サービスやビジネスモデルの開発と事業化及び販路開拓や取引の拡大並びに技術開発や知財取得等を成功報酬型契約に基づき、伴走型で支援する「成功報酬型コーディネータ事業」を平成27年度から実施している。
- ・ このコーディネータに対し、KICC の技術ニーズ・シーズを提供し、研究開発（技術の発掘、技術開発、試作品開発）、事業化計画（ビジネスモデル検討、事業計画作成、資金調達）及び販路拡大（マーケティング、マッチング）等のコーディネート活動を行った。

②活動実績

- ・ 2人の成功報酬型コーディネータが合計280件の研究開発、事業化計画の策定、販路拡大に関する支援を実施し、成功報酬型新規契約件数は6件に達した。

成功報酬型契約の概要

契約種別	支援事業	支援内容	成功報酬の概要
成功報酬型	技術開発・事業化	・試作品開発 ・資金調達 ・技術供与等	・開発費の5% ・調達資金の5% ・ロイヤリティーの5%
	新規事業・事業化	・外部資金導入 ・顧客開拓	・獲得資金の5% ・当該製品の売上げの5%
有償支援型	試作品・事業化	・デザイン、設計	・10万円/月のコーディネーター料

(3) 九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデーへの参加

- ・九州経済産業局と AIST Kyushu が主催、各県公設試共催で、構成機関の最新技術情報を提供する「九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデー」を開催した。
- ・AIST Kyushu・公設試の研究シーズや公設試・産総研の合同成果発表会及び技術・知財等の無料相談会を開催し、技術相談に対応した。

5. 九州オープンイノベーションセンターとの連携による新事業創出の支援

- ・2020年4月に設立した九州オープンイノベーションセンターと連携した新事業の創出に向けた体制の検討を行った。

6. 広報活動の実施

- ・KICC 専用ホームページを通して、ニーズ・シーズ、開放機器、支援政策等の情報や大手企業等のニーズ説明会や技術相談会等のイベント情報等の広報を行った。

Ⅲ. 予算額

- ・令和元年度は、通常総会及び特別講演会の開催費用、技術ニーズ説明会、KICC 構成機関コーディネータ検索システム構築等として、2,406千円を支出した。

以上